

令和6年度第3回あきる野市図書館協議会 会議録（抄録）

- 1 日 時 令和7年3月26日（水）午後2時～3時05分
- 2 会 場 あきる野市中央図書館2階会議室
- 3 出席者 委 員：田中委員、古城委員、海老沢委員、毛利委員、
松下委員、宮崎委員
事務局：遠藤生涯学習担当部長、山根図書館長、向笠庶務係長、
君島中央図書館係長、古川東部図書館エル係長、大貫五
日市図書館係長、矢部東部図書館エル係主査
- 4 議事
 - （1）令和7年度図書館事業計画（案）について
 - （2）令和7年度予算の概要について
 - （3）令和6年度利用者アンケートの集計結果について
 - （4）その他

開会 <図書館長、進行>

- ・会議の成立についての確認（図書館協議会運営規則第4条に基づく）
- ・会議録はホームページ等で公開する。

挨拶 <議長>

<生涯学習担当部長>

資料の確認

議事（以下、議長進行）

- ・傍聴希望者3人の傍聴を許可する。

(1) 令和7年度図書館事業計画(案)について

○ 事務局説明(図書館長)

前回の第2回図書館協議会において令和7年度の図書館事業計画の施策目標及び重点事業をご検討、承認いただいた。これを踏まえ、「令和7年度図書館事業計画(案)」を作成したので、本日、今協議会の承認を求めるものである。

その前に、今年度重点事業の中で取り組んできた、

- ・電子図書館の検討
- ・W i - F i スポットの設置の検討
- ・図書館に来館することができない方への対策の検討

の3点について、それぞれ報告をさせていただく。

○ 事務局説明(中央図書館係長)

配付資料「令和6年度電子図書館導入状況調査集計結果報告書」により説明

令和6年7月1日(月)から19日(金)まで、東京都内の市町村立中心館の図書館に、電子図書館の導入についてアンケートを行った。

調査対象30カ所、回答数は28カ所であった。

このうち、導入済18カ所、検討中5カ所、導入予定なしが5カ所という結果が出た。

導入のメリットとしては、非来館型サービスを提供することで、バリアフリーに限らず、様々な利用者の利便性向上に繋がり、利用者数も増加したという回答があった。また、システム内で貸出及び返却処理が行われるため、資料の延滞や紛失等の恐れがないという回答も多く見られた。

デメリットとしては、利用者の利便性は向上したが、業務上の負担は増加した。紙資料よりも高額なうえ利用期限等の制約があるものが多いため、コンテンツの充実を図る事が難しいなどの回答があった。

図書館としては、引き続き令和7年度も実施に向け、更に検討を続けていく。

○ 事務局説明(五日市図書館係長)

配付資料「W i - F i スポットの設置の検討」により説明

現在、W i - F i スポットは、中央図書館及び東部図書館エルの2館において、1度に4人までが利用できる設備がある。

このような現状から、図書館利用者に限らず、個人端末を用いて誰もがイン

ターネット上の情報を得ることができるよう、中央、東部、増戸、五日市の4館全てで、フリーWi-Fiスポットの設置に向けた検討を行った。

具体的には、すでに導入している他部署からの情報収集、現場の確認及び新たに設置予定である4館の状況確認を行い、工事見積書を徴取した。

令和7年度予算への計上は見送りとなったが、引き続き設置に向けた取組を進める。

○ 事務局説明（東部図書館エル係長）

配付資料「図書館に来館することができない方への対策の検討」により説明

方法として、宅配サービスと移動図書館の2つを検討した。

宅配サービスについては、現在、障がい者サービスとして、職員が無料で宅配を行っている。件数が少ないこともあり、現状の宅配で特に不満の声はなく、適切に対応できている。

一般向けに宅配を拡充することで対応件数が増えた場合、現在の方法での運用は難しい。無料で実施するためには、配送担当者の人員確保等のために予算が必要になるなどの意見があった。あるいは、有料でも宅配サービスを利用したいという要望があれば、改めてアンケートや検討が必要となる。

移動図書館については、都内で実施している自治体は6自治体のみとなっている。

新規で移動図書館を運行する場合の課題は、維持管理費用がかかる、車両の保管場所が必要になる、人が集まる駐車ステーションを設定する場所が必要となるなどの意見があった。

この2つの面から、他市町村の現状や課題の大きさを考えると、今検討している電子図書館が優先度が高く、次いで宅配サービスを検討した方が良いと考える。

以上が3点の報告となる。それでは、令和7年度の事業計画案（案）について説明をさせていただく。

○ 事務局説明（庶務係長）

配付資料「令和7年度図書館事業計画（案）」により説明

前回、6つの施策目標と5つの重点事業について説明させていただいた。

基本的な部分を変えていないが、重点事業については、予算等にあわせて若干修正している。

まず（１）図書館運営の充実では、「電子図書館について引き続き検討する」と記載した。今後も最新の情報を得るなど、取り組んでいく。また、増戸分室の業務委託期間が令和７年度で満了となることから、次期の契約について準備を進めることを追加した。

次に（２）図書館施設・設備の充実について。

Ｗｉ－Ｆｉスポットについて先ほど報告した中でもあったが、予算の計上までは行かず、引き続き取組を進める。４頁、中央図書館の照明器具のＬＥＤ化と、武蔵引田駅北口の区画整理事業で整備中のロータリー部分に「返す本のポスト」を設置する。

次に（３）子ども読書活動の推進について。

ここでは、今年度新規に開催した「子ども司書」について、好評であったため、これを定着させたいと考え７年度も実施する。加えて、７年度の新規事業として「一日こども館長」を実施する。

（４）デジタルアーカイブに関しては、今年度と同様、着実に進めていく。

（５）図書館活用の推進では、レファレンスサービスや点字図書をはじめ、障がい者サービス機器の提供など様々な図書館の機能を周知し、活用を促進する。なお、レファレンス講座については、これまで年１回であったが、以前協議会の中で、もう少し回数を増やしてもらいたいとのご意見もいただいたので、２回の実施としている。

最後に、新たに加えた部分になるが、（６）あきる野市制施行３０周年事業として、あきる野市にゆかりのある図書に関する作家さんの作品展示を４館全館で行い、その活躍を市民に広く知ってもらう機会としたいと考えている。

この事業計画の内容は基本的に変えることはないが、日程は変更することがあるので、ご承知を。

○ 質 疑

委 員 レファレンス講座について、年１回のところを２回にしていた
 だけ感謝する。参加者の状況にもよるが充実すると思う。

 図書館に来館することができない方への対策だが、基本的には
 良いと思う。移動図書館は車両代、人件費などコストがかかるた
 め、電子図書館をメインにして宅配などでケアしていくのが良い
 と思う。

館 長 電子図書館は日々コンテンツが増えてきている。導入するまでには時間がかかると思われるので、今後もアンテナを高くして検討を進めていく必要がある。また、紙の資料と電子図書とのバランスは常に考えていきたいと考えている。

議 長 他に質問はないか。ないようなので、令和6年度重点事業の3点について報告として承る。

「令和7年度図書館事業計画（案）」について承認することに異議はないか。

（委員からの異議なし）

議 長 本件について承認とする。

（2）令和7年度予算の概要について

○ 事務局説明（庶務係長）

配付資料「令和7年度予算の概要について」により説明

令和7年度の図書館関係の当初予算の合計は、219,634,000円で、令和6年度と比較し2,830,000円の増額となった。

主な理由として増加分については、中央図書館では、温室効果ガス排出量と電気料金の削減等を図ることを目的とした、照明をLED化するためのリース費用、また、各館に勤務している会計年度任用職員に関する経費、武蔵引田駅北口の区画整理事業整備後ロータリー部分に設置する「返す本のポスト」の購入費等である。

減少分については、中央図書館と東部図書館エルの空調設備保守点検委託料で計上していた3年毎のフィルター交換がないこと、中央図書館運営管理経費の図書購入費等となっている。

○ 質 疑

委 員 中央図書館運営管理経で図書購入費が574,000円減額となっている。

資料の値段も毎年値上がりしているので、せめて現状維持ができるよう頑張ってもらいたい。

減額になるということは、実質的に値上げの部分を含むと更に厳しくなっている状況なので、何か工夫ができないものか。

手当などの人件費も相当上がっているのも、そのあたりとの兼合いもあると思うが、何とか考えていただきたい。

少し厳しすぎるのではないか。

事務局 委員の仰るとおり、図書購入費を削るのは苦渋の決断であった。最後まで、図書購入費には手を付けずにいたが、最終手段としてやむなく減額に至った。

図書購入費の予算確保については、引き続き優先度を上げてキープするよう努力していく。

ご理解いただきたい。

委 員 武蔵引田駅北口への「返す本のポスト」設置について感謝する。今後、周辺には多くの家が建つと思うので、利便性が良くなると思う。

設置するポストの形と金額はどれくらいするのか。

事務局 形は、現在各駅などに設置しているものと同じものを考えている。費用は、562,000 円を予算計上している。

武蔵引田駅周辺に「返す本のポスト」を置くことができるのは、図書館として長年の課題であった。市内には5つの駅があるが、周辺にポストがないのは武蔵引田駅だけであった。

区画整理の担当部署にも協力してもらい、図書館の課題がひとつ解決することとなる。多くの方々に利用していただきたい。

委 員 現在、返却ポストの利用状況は？

事務局 毎日回収を行っているが、返却される本に多い少ないはあるが、どのポストにも必ず返却されている状況である。

委 員 「書店と図書館等との連携促進」の強化の意味でも、書店の中に返却ポストを置いたらどうか。本も売れるし、図書館の利用も増えているという相乗効果の報告も出ている。将来に向けて考えてみてはどうか。

事務局 どう活かせるか検討していきたい。

議 長 他に質問はないか。ないようなので、令和6年度重点事業の3点について、報告として承る。

「令和7年度予算の概要について」承認することに異議はないか。

(委員からの異議なし)

議 長 本件について承認とする。

(3) 令和6年度利用者アンケートの集計結果について

○ 事務局説明(庶務係長)

配付資料「令和6年度利用者アンケート集計結果報告書」等により説明。
調査票配布数は1,500、調査票回収数は676であった。回収率は45.1%となっている。

回答方法の内訳は、紙ベースが586、二次元コードが90であった。

○ 質 疑

委 員 電子書籍に関するアンケートで、「よく分からない」との回答が多くあったが、導入するにはしっかり周知する必要がある。使い方についても説明が必要だと思う

事務局 電子書籍の扱いについては、PRのほかにもスマホ教室のような、使い方を説明する場を設けるなど丁寧な対応が必要と考えている。

委 員 対面式の説明も大事だが、使い方を録画してホームページに掲載し、誰でも学べるようにしたらどうか。ホームページをもっと活用した方が良いと思う。

また、今回のアンケートで「使いにくい」、「ホームページが重い」という意見が多々あったが、見直しについて検討した方が良いのではないか。

事務局 ホームページは単体で動いているわけではなく、図書館システムに付随して連動しているため、大きく変えることが出来ないのが現実である。図書館としても状況は把握していて、動きが軽くなるよう業者にも話はしており、課題は双方で認識している。

議 長 他に質問はないか。ないようなので、令和6年度利用者アンケートの集計結果について、報告として承る。

(4) その他

特になし

議 長 ないようなので、議事は以上で終了とする。

<以下、図書館長進行>

館 長 閉会となるが、最後に何かありますか。

館 長 無いようなので閉会させていただきます。

閉会